

Title	フランソワ・ラブレールと建築
Sub Title	Francois Rabelais et l'architecture
Author	岩下, 綾(Iwashita, Aya)
Publisher	慶應義塾大学
Publication year	2019
Jtitle	学事振興資金研究成果実績報告書 (2018.)
JaLC DOI	
Abstract	<p>本研究は、16世紀フランスの作家であるフランソワ・ラブレールの一連の作品『ガルガンチュアとパンタグリユエル物語』における、同時代の建築の影響と作家の独自性を明らかにすることを目的としている。</p> <p>研究内容としては、ラブレールのテキストに描かれた建築物と同時代のものとの同定と、描写文体の調査との2つが主なものとなる。</p> <p>初年度となった2018年は、16世紀フランスにおけるマルクス・ウイトルウィウス・ポッリオ『建築について』（紀元前1世紀）の建築理論書としての受容状況を概観した。特に1547年にジャン・マルタンによってフランス語に翻訳された版と、ギヨーム・フィランドリエのウイトルウィウス注解を中心に据え、それらのラブレール作品への影響を調査した。G.フィランドリエに関しては、国王およびその姉マルグリット・ド・ナヴァールに近しいジョルジュ・ダルマニャックに仕えたユマニストであり、2回目のイタリア旅行でラブレールと出会っている。彼のウイトルウィウスの著作をめぐるイタリアでの活動において関わった人物（教皇、ローマのアカデミーに属するユマニスト、フィリベール・ド・ロルム等）が、ラブレールのテキストに散見され、深く関係していることが明らかになった。さらに、ラブレールの庇護者ジャン・デュ・ベレーが仕えた国王フランソワ1世が、建築計画の段階から参与したフォンテーヌブロー宮殿の「フランソワ一世の回廊」および「ユリシーズの回廊」の図像プログラムと同時代の人文主義者との関係を調査した。</p> <p>Nos recherches se proposent d'appréhender l'influence des monuments architecturaux créations architecturales contemporains sur les œuvres de François Rabelais et d'élucider l'originalité de l'auteur, d'une part en identifiant lorsque possible les références architecturales dans ses œuvres, d'autre part en nous penchant sur la recherche stylistique de ses descriptions.</p> <p>En 2019, première année de cette étude, nous avons passé en revue la réception au XVIe siècle en France de « De Architectura » de Vitruve, avant d'analyser la possibilité d'effets produits sur le texte rabelaisien de la traduction de Vitruve par Jean Martin en 1547 et de ses annotations par Guillaume Philandrier en 1544 et en 1552.</p>
Notes	
Genre	Research Paper
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=2018000005-20180114

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

研究代表者	所属	法学部	職名	専任講師	補助額	300 (A) 千円
	氏名	岩下 綾	氏名 (英語)	AYA IWASHITA		
研究課題 (日本語)						
フランソワ・ラブレールと建築						
研究課題 (英訳)						
Francois Rabelais et l'architecture						
1. 研究成果実績の概要						
<p>本研究は、16世紀フランスの作家であるフランソワ・ラブレールの一連の作品『ガルガンチュアとパンタグリュエル物語』における、同時代の建築の影響と作家の独自性を明らかにすることを目的としている。</p> <p>研究内容としては、ラブレールのテキストに描かれた建築物と同時代のものとの同定と、描写文体の調査との2つが主なものとなる。</p> <p>初年度となった2018年は、16世紀フランスにおけるマルクス・ウイトルウィウス・ポツリオ『建築について』(紀元前1世紀)の建築理論書としての受容状況を概観した。特に1547年にジャン・マルタンによってフランス語に翻訳された版と、ギヨーム・フィランドリエのウイトルウィウス注解を中心に据え、それらのラブレール作品への影響を調査した。G.フィランドリエに関しては、国王およびその姉マルグリット・ド・ナヴァールに近いジョルジュ・ダルマニャックに仕えたユマニストであり、2回目のイタリア旅行でラブレールと出会っている。彼のウイトルウィウスの著作をめぐるイタリアでの活動において関わった人物(教皇、ローマのアカデミーに属するユマニスト、フィリペール・ド・ロルム等)が、ラブレールのテキストに散見され、深く関係していることが明らかになった。さらに、ラブレールの庇護者ジャン・デュ・ペレーが仕えた国王フランソワ1世が、建築計画の段階から参与したフォンテーヌブロー宮殿の「フランソワ一世の回廊」および「ユリシーズの回廊」の図像プログラムと同時代の人文主義者との関係を調査した。</p>						
2. 研究成果実績の概要 (英訳)						
<p>Nos recherches se proposent d'appréhender l'influence des monuments architecturaux créations architecturales contemporains sur les œuvres de François Rabelais et d'élucider l'originalité de l'auteur, d'une part en identifiant lorsque possible les références architecturales dans ses œuvres, d'autre part en nous penchant sur la recherche stylistique de ses descriptions.</p> <p>En 2019, première année de cette étude, nous avons passé en revue la réception au XVIe siècle en France de « De Architectura » de Vitruve, avant d'analyser la possibilité d'effets produits sur le texte rabelaisien de la traduction de Vitruve par Jean Martin en 1547 et de ses annotations par Guillaume Philandrier en 1544 et en 1552.</p>						
3. 本研究課題に関する発表						
発表者氏名 (著者・講演者)	発表課題名 (著書名・演題)	発表学術誌名 (著書発行所・講演学会)	学術誌発行年月 (著書発行年月・講演年月)			